Kawasaki

自走式破砕プラント

カワサキ　クローラクラッシャ

KAWASAKI　CRAWLER　CRUSHER

川崎重工

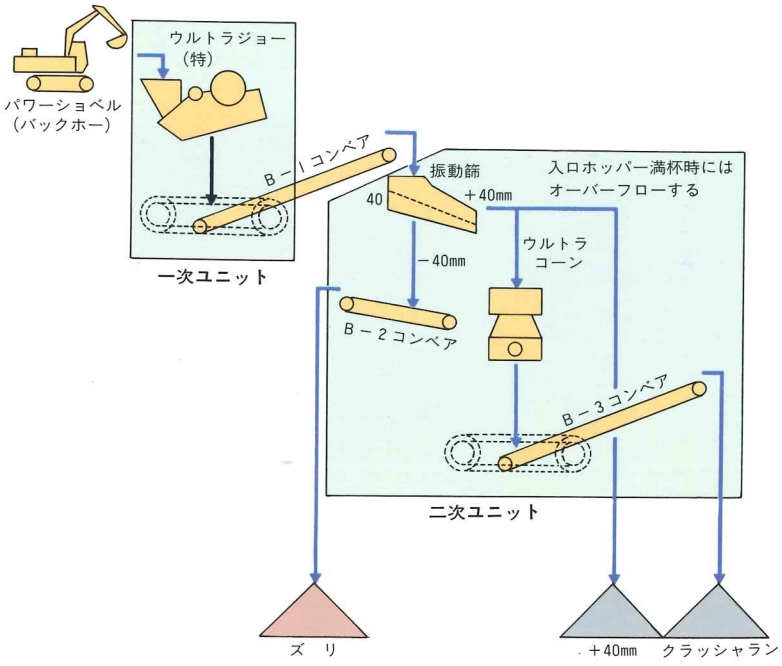
「自走式破砕プラント」が、生産コストの大幅ダウンを実現します。

骨材・鉱石の生産コストのなかで、大きな役割を占めるのが、原石輸送費とプラント運転費です。輸送システムとプラントの簡素化―この２つのニーズを同時に満たすのが、「自走式破砕プラント」です。

「カワサキクローラクラッシャ」―広く展開する原石山の切羽に自走して追随し、つねに最適な位置に配置できます。プラントの運転に必要な動力は自らのディーゼルエンジンパワーユニットでまかない、発破時には安全な位置まで退避できます。

日本の原石を知り尽くした川崎重工が、その原石の性状に合わせて設計・製作した１次・２次ユニット。原石輸送の合理化とプラント簡素化のキーマシンとして、国産機ならではの迅速なアフターサービスとともにお届けします。

● 全体図



すべての機器をクローラ上に搭載

クラッシャ、コンベア、振動ふるいに加え、それら機器の動力源となるディーゼルエンジンパワーユニット、そして油圧制御装置まですべてクローラ上に搭載しています。ユニットとしての優れた機動性を有するとともに、ほかからの電源供給も一切不要。燃料の軽油を定期的に補給するだけで、毎日、破砕・走行が行なえます。

ワンマンコントロール

エンジン用制御盤と全体の操作盤が組み込まれているため、パワーショベルの運転手１人だけですべての機器が運転可能。最適位置まで走行させて機器を起動させれば、あとはショベルで原石を供給するだけです。

１次ユニット＋移動式コンベアで、原石運搬車が不要

１次ユニットで破砕し、移動式ベルトコンベアで搬送することにより、原石運搬車（ダンプ）は不要となります。

すなわち、切羽の状況に合わせて１次ユニットを移動させ、これに移動コンベアを接続させることによって、既設の中間パイル、または固定プラントへの投入が可能となりました。

また、オプションとして、１次クラッシャ前に泥抜き用グリズリフィーダーも設置できます。

１次ユニット＋２次ユニットで、道路用砕石を生産

１次ユニットと２次ユニットを組み合わせれば、その場で最終製品（主に道路用砕石）を生産できます。また、スクリーンユニットを追加することにより、単粒度砕石の生産も可能となります。

堅牢な構造で、振動が少ない

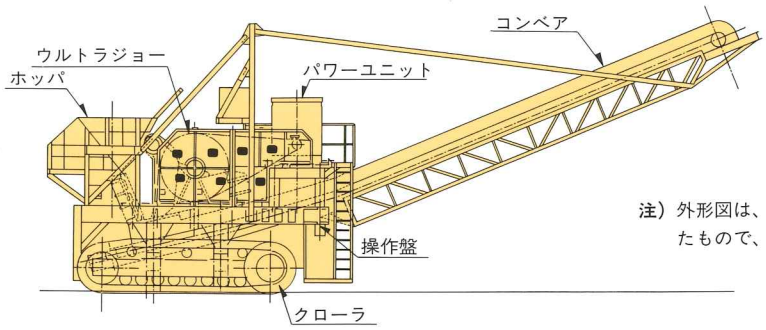
日本国内砕石場の地盤条件にあわせ、堅牢な構造にするとともに、振動の少ないウルトラジョーを搭載していますので、クローラへの影響はほとんどありません。

●型式と標準処理能力

一次ユニット

型　　式	最大供給寸法 (mm)	ディーゼルエンジン出力 (連続定格) (PS×rpm)	標準処理能力 (t/h) 一次クラッシャ出口間隙 (mm)				
			100	125	150	200	250
KCR－4232D	600×400×300	162×1,500	(240)	290	330	400	
KCR－4842D	850×600×425	258×1,500	(330)	(390)	440	520	600
KCR－6048D	1,000×700×500	372×1,500		(490)	(550)	660	730

注）1.処理能力は、見掛比重1.6t/㎥で爆破原石粒度分布をもつ軟質原石を、連続かつ均一に供給した場合を示します。
2.表土・ズリ分の混入が多い場合は、その性状（付着性、水分など）により処理能力が変化するとともに、破砕室内に付着する場合があります。
3.（　）内での使用についてはご相談ください。

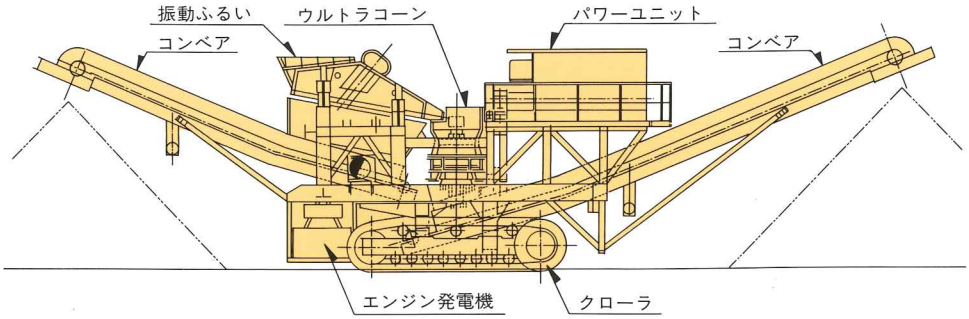


注）外形図は、二次ユニットに乗継ぐコンベアを搭載した例を示したもので、移動式コンベアに乗継ぐ場合は短くなります。

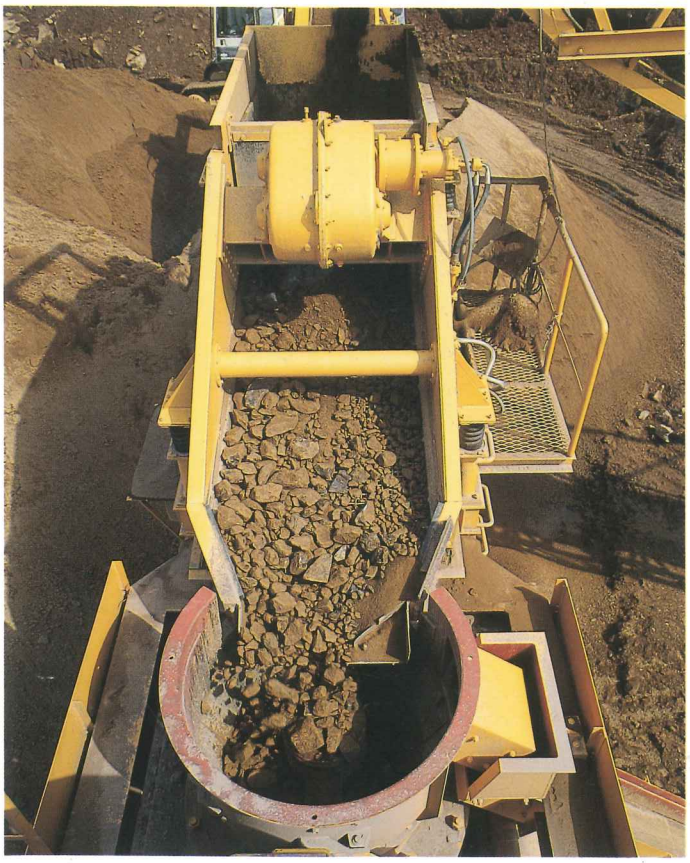
二次ユニット

型　　式	搭載機械		ディーゼルエンジン出力 (連続定格) (PS×rpm)	最大供給粒度 (mm)	標準処理能力 (t/h)
	二次クラッシャ	振動篩			
KCR－1000C	KM－2010Z	KLS4121	258×1,500	最大辺長＜200～240	240
KCR－1200C	KM－2212Z	KLS5121	372×1,500	最大辺長＜220～260	350

注）1.処理能力は、見掛比重1.6t/㎥で、30～40㎜でズリ抜きを行なった軟質原石を連続かつ均一に供給し、二次クラッシャの出口間隙を25～30㎜（CSS）とした場合を示します。
2.原石の性状（破砕性・付着性・水分など）により処理能力は変化します。また、振動ふるいへの供給原石にズリ分が多く含まれている場合には、ふるい分けが悪くなるとともに二次クラッシャの破砕室内に付着する場合があります。



カワサキ　クローラクラッシャ
KAWASAKI CRAWLER CRUSHER



川崎重工業株式会社
破砕機事業部

東京本社
東京都港区浜松町2丁目4-1(世界貿易センタービル)　〒105
第一営業部産業機械課　☎(03)3435-2436～7
資源機械一課　☎(03)3435-2441～2
資源機械二課　☎(03)3435-2378
第二営業部東日本営業課　☎(03)3435-2448～9

関西支社
大阪市北区堂島浜2丁目1-29(古河大阪ビル)　〒530
第一営業部関西産業機械課　☎(06)348-8282
第二営業部西日本営業課　☎(06)348-8282

北海道支社
札幌市中央区北三条西4丁目1-1(日本生命ビル)
第二営業部東日本営業課　☎(011)281-3131

東北支社
仙台市青葉区本町2丁目3-10(朝日生命仙台本町ビル)　〒980
第二営業部東日本営業課　☎(022)261-3611

中部支社
名古屋市中区錦1丁目19-24(名古屋第一ビル)　〒460
第二営業部中部日本営業課　☎(052)201-6463

中国支社
広島市中区八丁堀16-14(第二広電ビル)　〒730
第二営業部西日本営業課　☎(082)222-2223

四国支社
高松市寿町1丁目1-12(高松東京生命館)　☎(0878)23-3355

九州支社
福岡市博多区上呉服町10-1(博多三井ビル)　〒812
第二営業部西日本営業課　☎(092)271-8522

八千代工場
八千代市上高野1780　〒276
☎(0474)83-1111

安全に関するご注意
製品を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。正しい取扱を行わないと事故、火災、感電、故障などにより死亡やケガにつながる恐れがあります。

カタログ上のご注意：●本カタログに記載の図面・性能などは、仕様により異なってきます。また、記載内容は、改良のため予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。●掲載の写真はカタログ用に撮影したもので、彩色・付属装備等は実際のものと異なる場合があります。

※本カタログに記載の内容は、改良のため予告なく変更する場合があります。

Cat.No.3Q1681 Sep.'95Ⓨ